

中間報告案とりまとめ以降の意見

令和2年11月25日

サイバーセキュリティ戦略本部 研究開発戦略専門調査会

内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）

基本戦略第1グループ

CSS2020企画セッション概要と参加者について

CSS2020: 2020年開催の情報処理学会によるコンピュータセキュリティシンポジウム

- 日時: 2020年10月29日 (木) 11:15~12:35
- 場所: オンライン開催
- タイトル: CSS企画セッション② NISC「研究・産学官連携戦略ワーキンググループ」の活動状況の共有
～サイバーセキュリティ研究開発の今後について議論しましょう～

● 概要:

NISCに設置された「研究・産学官連携戦略ワーキンググループ」では、サイバーセキュリティにかかる学術研究と産学官連携が、相互に良い影響を与えながら発展するために重要と考えられる推進方策を多角的に検討している。その検討内容（中間報告）をCSSコミュニティで共有するとともに、サイバーセキュリティの研究開発の今後の展望、方向性について、コミュニティ内で議論する。

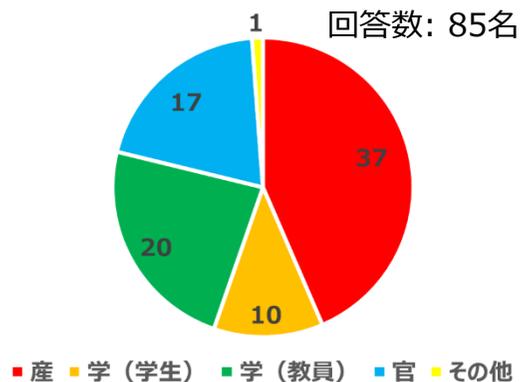
● 講演内容:

- 「ご挨拶」 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）副センター長 山内智生 内閣審議官
- 「NISC 研究・産学官連携戦略ワーキンググループの取り組み紹介と期待」
内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）上田光幸 内閣参事官

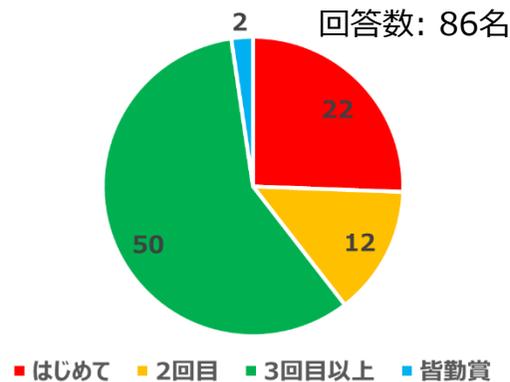
- 全体討論、意見交換

- 企画セッションの参加人数: 200名強（最多時）

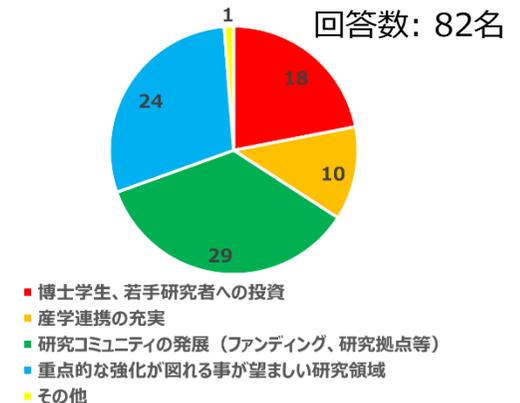
【所属組織の属性】



【CSSへの参加】



【関心があるテーマ】



※上記の円グラフは、座長がセッション中に質問し、参加者が任意に回答した結果。そのため、セッションの参加人数とは一致しない。

CSS2020企画セッションにおける参加者のご意見について（1/2）

先の選択肢以外に関心があるテーマについてお書き下さい

- キャリアパスや人材育成関連：給料・学費・就職・待遇・環境の改善、ポストの安定化、人材の流動性 等
- 産学官連携関連：マッチング、企業からのサポート、ベンチャー起業、研究のビジネス化、インターンシップ、標準化 等
- ファンディング関連：財源確保、研究拠点の形成 等
- 国際交流関連：海外の研究者の招聘、海外留学 等
- その他：基礎研究、研究領域、サイバー犯罪対策、法務関連 等

博士課程や若手研究者への支援として、どのような支援があるとよいでしょうか？

- キャリアパス支援や就職・進学の見路保証等のサポートプログラム
- RA経費、スタートアップ研究費等の金銭面での支援やCREST・さきがけ等のファンディングの活用
- 雑務の低減や研究に専念できる環境改善
- 学生等の研究コミュニティへの参加促進
- 海外との交流促進
- インターンシップや非常勤勤務等の企業との連携

研究コミュニティとして産学連携をもっと増やしていくにはどうすれば良いでしょうか？

- 人事交流や企業側のニーズと学術側のシーズ等のマッチングを提供
- 学会等のコワーキングプレイスや大学の共同研究拠点等の交流の場を提供・増加
- 事務の軽減や交流促進等の環境を改善
- 人材育成や人材の流動化を実施
- 企業や個人が金銭面のメリットを受けられるようにする
- 大学・学生の研究アピール・可視化を実施、大学への人材の受入・拡充
- 企業からの理解・サポートを実施、企業による実データを提供

CSS2020企画セッションにおける参加者のご意見について（2/2）

重点研究領域についてご質問、コメントがあればお願いします

- 競争力を維持できる体制構築・強化及びファンディングが必要
- 外部への発信が重要、また情報発信を行う場合の倫理面のサポートや個人情報保護に対する配慮が必要
- 実用的な研究を行うなら、実務者を含む研究体制の構築が重要
- 重点領域に選定されなかった潜在的なシーズ研究をどのように育てていくのかをコメントしてほしい
- 5～10年後を見据えた重点領域を設定してほしい（ただし、未来を見据えた設定は困難であるという意見もあり）
- （自動車セキュリティ、AIセキュリティ、安全保障、ブロックチェーン、量子コンピュータ等個別の研究領域に関するコメントあり）

NISCの研究・産学官連携戦略WGに期待することをお知らせ下さい

- 若手研究者、研究コミュニティ、官等との各連携を推進
- 外部への情報発信を推進
- サイバーセキュリティの学問を体系化
- 研究開発を行いやすい仕組みやルールづくり
- 大学には、直近のニーズだけでなく未来を見据えて研究してほしい
- コミュニティ運営に貢献した研究者がメリットを受けられるようにしてほしい